

中学校給食に関するアンケート結果

平成 29 年 10 月

摂津市教育委員会

1 調査の目的

- ① 中学生の昼食の摂取状況を、担任が直接確認を行い、実数把握を行うこと。
- ② デリバリー方式選択制給食を食べていない生徒でかつ自宅からお弁当を持参していない生徒の昼食摂取状況を確認すること。

2 調査の設定

(1) 調査対象

市内中学校に在籍する中学生を対象

(2) 調査期間

平成 29 年 5 月 22 日から平成 29 年 6 月 2 日までの期間で、2 日間を抽出

(3) 調査方法・内容

- ① 市内中学校に在籍する生徒の昼食内容を、担任の目で確認し把握すること。
- ② デリバリー方式選択制給食を喫食したことがない、又は以前に食べたことはあるが、それ以降食べていない生徒を対象に、選択制給食を食べていない理由を確認する目的で実施。

3 アンケートの実施状況

アンケート配付数 1,895 人。内、デリバリー方式選択制給食を喫食していない生徒 1,819 人を対象に実施。なお、生徒の昼食状況の調査については、5 月 22 日から 6 月 2 日の間で 2 日間を抽出し、生徒の昼食状況を担任の目で確認。

4 アンケート結果を見る際の注意事項

回答については、複数回答を可能としていることから、各質問項目における総数とアンケート回答数と合致しない場合がある。

デリバリー方式選択制給食に係るアンケート結果について

(1)【別紙①-デリバリー方式選択制給食を食べていない理由について-】

- ・ 別紙調査結果①より、給食を食べていない理由については、「①保護者等が作る弁当の方が好き」という理由が一番高く、続いて「⑥配膳室に行き、受け取り、返却するのが面倒」、「②食べたいと思うメニューが少ない」の順になっている。
- ・ 給食を食べていない理由として2番目に高い「⑥配膳室に行き、受け取り、返却するのが面倒」という理由については、受け取りに行くことで友達と一緒に食べ始められないことが理由と考えられる。しかし、配膳室の変更はできないことから、全員が揃ってから食べ始めるということを実践している学校もあり、全学校での実施を依頼することも必要と考える。
- ・ 別紙調査結果①より、給食を食べない理由として「④以前食べたことがあるが、おいしくなかった」という理由が一番低い理由となっており、味が大きな問題ではないと推察できる。

(2)【別紙①-無料での試食会があれば、給食を食べてみたいかについて-】

- ・ 無料での試食会があっても試食をしたくないと考える生徒が全体の69%いるということは、「②食べたいと思うメニューが少ない」という理由がひとつの要因だと考えられる。生徒へのアンケートの実施などを通じて、給食に要望を取り入れていくことも必要だと考える。

(3)【別紙②-生徒の昼食摂取状況について-】

- ・ 生徒の昼食摂取状況については、89.7%の生徒が家庭弁当を持参しており、平成27年度に実施したアンケートにおいても95.4%の生徒が家庭からの弁当を持参しているという結果とほぼ合致する結果となっている。
- ・ 学校毎に生徒の昼食摂取状況を見ると、喫食率の低い学校ほどコンビニ等で購入した弁当等を喫食していることが伺える。

今後の対策について

- ・ 今回のアンケートから、5%の生徒がコンビニ等で購入した弁当等を喫食している状況が確認できている。この5%の生徒をコンビニ弁当ではなく、栄養バランスのとれた給食を食べてもらえるような方策が必要になってくる。実際に食べたことがない生徒が周囲の生徒の意見に流されたり、クラスで食べている生徒が少ない状況が食べにくい原因となっており、更なる悪循環に陥っている。コンビニ弁当の喫食率が高い学校においては、試食会の実施や担任を中心とした学校全体での取り組み、さらには生徒に人気のあるメニューの充実を図り、中学校給食の良さを知ってもらうことで中学校給食の喫食率の向上を目指す。